

特色ある事業：生活の質の向上

7 自転車活用の推進



「福岡市自転車活用推進計画」（令和3年度～令和6年度）に基づき、以下の整備を推進します。

自転車通行空間整備の推進

歩行者や自転車、自動車の安全・安心を確保するため、自転車通行空間を整備します。

＜令和6年度主な予定箇所＞

- ・ 県道都地姪浜線（新規）
- ・ 主要地方道志賀島和白線（海の中道）（継続）
- ・ 市道博多姪浜線（昭和通り）（継続）

駐輪場整備の推進

まちづくりの進展の機会を捉え、駐輪場を整備します。

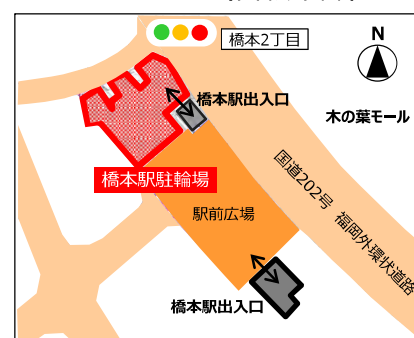
＜令和6年度主な予定箇所＞

- ・ 地下鉄七隈線 橋本駅（令和7年春完了予定）
駐輪台数：約900台

予算 474,300千円
（自転車課）



予算 269,000千円
（自転車課）



8 無電柱化の推進

「福岡市無電柱化推進計画」（令和3年度～令和7年度）に基づき、「防災」「安全・円滑な交通確保」「景観形成・観光振興」などの観点から、無電柱化を計画的に推進します。また、低コスト手法を活用するとともに、「ファスト地中化※」の実証実験を行うなど、コスト縮減や事業のスピードアップを図ります。※災害時の大規模停電につながる道路の縦方向の電線類を、先行して地中化すること

＜令和6年度主な予定箇所＞

- ・ 主要地方道志賀島和白線（継続）（P6-4再掲）
- ・ 市道清水干隈線（継続）
- ・ （都）国道3号線（継続）（P5-1再掲）

予算 1,823,524千円
（道路利活用推進課）



9 Fitness Cityプロジェクトの推進



「福岡100」の一環として、自然と楽しく体を動かしたくなる仕組みや仕掛けがあるまちづくり『Fitness Cityプロジェクト』に取り組んでいます。大博通りの西側歩道では、「歩きを促す、歩いて楽しい空間づくり」として、木製デッキやベンチ設置による、木陰を活用した憩い空間整備や、路面標示などによる歩きを促す仕掛けづくりに取り組みます。

予算 111,000千円
（道路利活用推進課）



10 道路バリアフリー化の推進

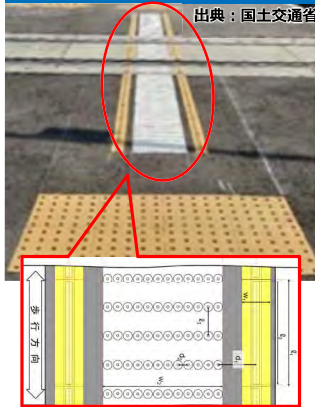


ユニバーサルデザインの理念に基づき、すべての人が安全で快適に移動できるように、歩道のフラット化、視覚障がい者誘導用ブロックの設置などに取り組みます。

また、令和4年4月に奈良県で起きた踏切内での事故を受け、令和6年1月に国から踏切部の視覚障がい者誘導表示の構造等が示されたことから、踏切部のバリアフリー化に取り組みます。**(新規)** さらに、横断歩道部などにおける歩道と車道の段差を解消するため、令和6年度から段差のない縁石の設置に取り組みます。**(新規)**

予算 1,943,321千円
(道路計画課・道路利活用推進課)

踏切部のバリアフリー化 (イメージ)
出典：国土交通省



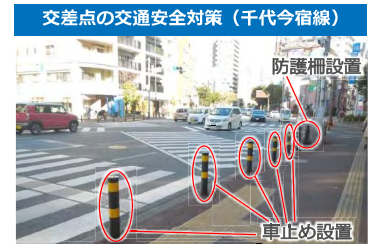
段差のない縁石の整備事例 (老岐団地)



11 交通安全対策の推進

「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校、保護者、地域、各関係機関が連携・協力し、引き続き通学路等の安全対策に取り組みます。また、車両走行情報のビッグデータを活用して設置するハンプ等と車両の速度規制を組み合わせた、ゾーン30プラスを推進します。

予算 2,506,910千円
(道路計画課)



12 交通円滑化に向けた局所的な対策

交通の円滑化を図るため、渋滞が著しい交差点の改良や、既存のバス路線におけるバス停カットの整備に取り組みます。

予算 269,000千円
(道路計画課)

<令和6年度主な予定箇所>

- ・ 県道山田中原福岡線 [五十川1丁目交差点] **(新規)**
- ・ 市道舞鶴葉院線 外 [城東橋交差点] (継続)
- ・ 県道後野福岡線 [屋形原1丁目交差点] (継続)
- ・ 県道後野福岡線 [下の原バス停] (継続)



13 防犯灯補助金【拡充】

補助金増額による地域負担軽減

自治会等の地域団体が設置・維持管理する防犯灯の補助事業において、近年、電気料金や機材単価が高騰していることから、防犯灯の工事費補助金および管理費補助金を増額し、地域団体にかかる負担軽減を図ります。

予算 94,431千円
(道路維持課)



特色ある事業：生活の質の向上

14 治水対策の推進



治水対策の根幹である河川改修等の推進

予算 2,980,840千円
(河川計画課)

大雨による河川の氾濫を防止するため、護岸の整備などの河川改修や雨水の流出抑制を目的とした治水池の整備などを推進するとともに、河川における親水性の向上を図ります。

河川整備

河川改修を進め、河川の氾濫を防止するとともに、親しみのある水辺空間の整備などを行います。

<令和6年度主な予定箇所>

香椎川(継続)、周船寺川(継続)、
金屑川(継続)、弁天川(継続)

治水池整備

豪雨時等に雨水を一時的に貯留することで、河川への流入を軽減します。

<令和6年度主な予定箇所>

源蔵池(継続)、五ヶ村池(継続)

普通河川の洪水浸水想定区域図の作成(継続)

水害リスク情報の周知を図るため、洪水浸水想定区域図を作成します。



15 浸水対策の推進

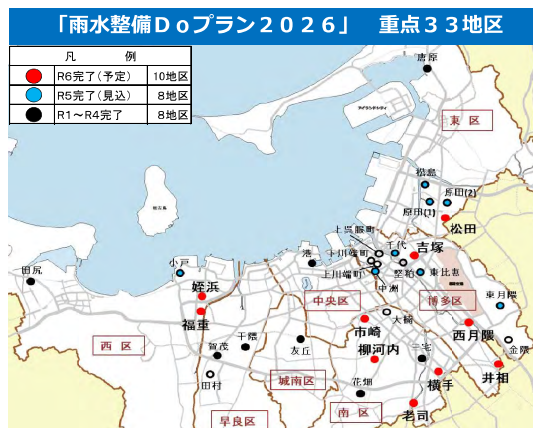


大雨に強い安全・安心なまちづくり

平成11年6月29日の豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策に取り組んできました。引き続き、「雨水整備D o プラン2026」(令和元年度～令和8年度)の重点地区を優先的に進めるなど、浸水対策に取り組めます。

<令和6年度完了予定地区>

松田、西月隈、井相田、吉塚、横手、
老司、市崎、柳河内、姪浜、福重



予算 2,701,300千円
(下水道企画課)

16 アセットマネジメントの推進



道路・河川・下水道施設の予防保全型の維持管理の推進

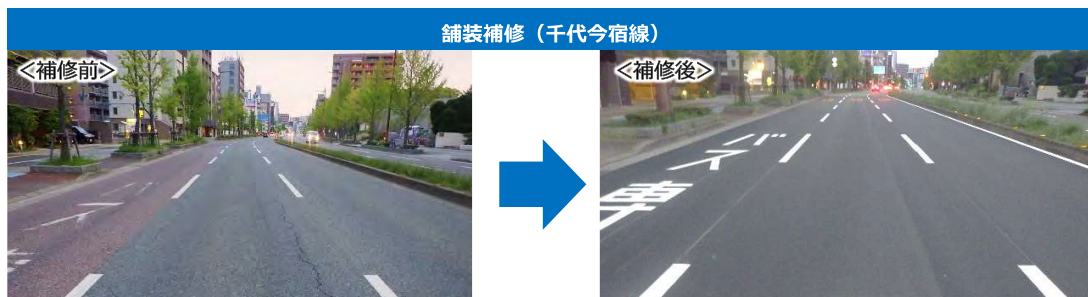
市民の安全で快適な生活に欠かせない、道路・河川・下水道施設の多くが、今後、老朽化等による更新期を迎え、膨大な更新費用が必要となるため、従来の事後保全型の維持管理から計画に沿った予防保全型の維持管理へ転換し、施設の長寿命化と財政負担の低減・平準化を図ります。

道路のアセットマネジメント

定期点検の結果等を踏まえた、予防保全型の修繕等を実施します。

対象施設：舗装、橋梁、トンネル、横断歩道橋、アンダーパス 等

予算 4,414,809千円
(道路維持課)



河川のアセットマネジメント

予算 1,035,234千円
(河川計画課)

河川管理施設である護岸、排水機場及び水門などの老朽化に伴う更新費用の増大に対応するため、計画的な更新・修繕により、ライフサイクルコストの縮減や投資の平準化を図りつつ、施設の長寿命化を図ります。



下水道のアセットマネジメント

予算 15,951,166千円
(下水道企画課・下水道計画課)

水処理センターやポンプ場の老朽化した設備などについて、予防保全型の改築更新を実施します。
また、下水管の埋設時期、管種及びテレビカメラによる劣化状況調査などにより、改築更新を計画的・効率的に実施します。
特に、都心部は下水道整備時期が早いことから、重点的に取り組みます。



都心部下水道主要施設再構築プラン (新規)

都心部の下水道主要施設は、整備時期が早く老朽化が進んでいるため、ポンプ場の集約化等による一体的な再構築を行い、老朽化対策に加え、下水道施設の強靱化等を図る「都心部下水道主要施設再構築プラン」(令和6年度~令和25年度)に取り組みます。



17 再生可能エネルギーの導入推進【拡充】



下水バイオガス発電設備の導入拡大

予算 234,418千円
(施設調整課)

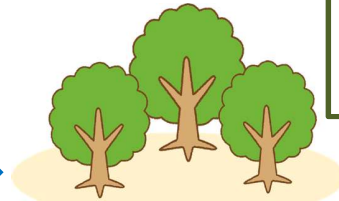
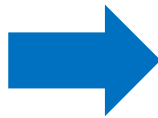
下水の処理過程で発生する下水バイオガスを利用した発電設備の導入拡大に取り組みます。令和6年度は、西部水処理センターへの発電能力150kW規模の導入に着手します。また、和白水処理センターにおいて発電能力100kWの増強工事（増強後200kW）を施工中であり、令和7年2月完成を予定しています。

【導入効果】

発電能力 100kW
⇒約300t / 年のCO₂削減



発電設備



森林 60haの
CO₂吸収量に相当

PayPayドーム
約9個分



PPA方式による太陽光発電設備の導入拡大

予算 一 千円
(施設調整課)

太陽光発電設備の導入拡大を進めるため、初期投資が不要なPPA方式を活用します。令和6年度は、東部水処理センター及び西部水処理センターへの導入を進めます。

下水道施設における再エネ電力への切替

予算 155,779千円
(施設調整課)

下水道施設で使用する電力を再生可能エネルギー由来電力へ切り替えることで令和12年度CO₂削減目標70%を令和6年度に達成する見込みです。

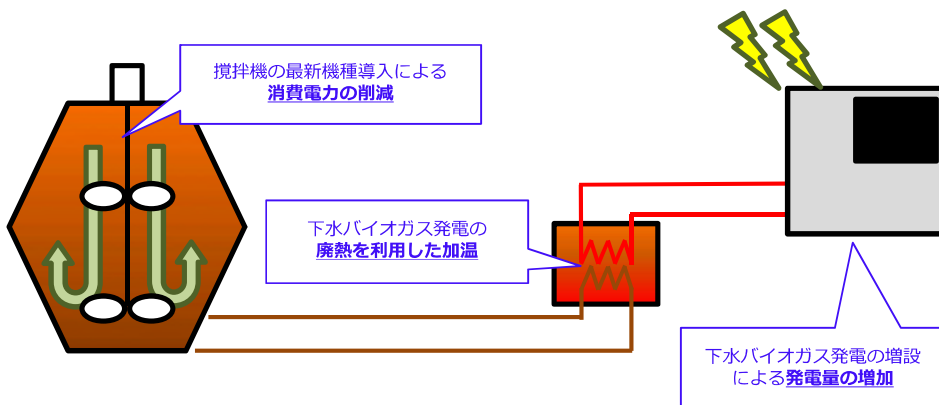
18 改築更新における省エネ機器の導入



老朽化した設備の改築更新にあわせて、省エネ機器の導入に取り組みます。

予算 1,208,550千円
(施設整備課)

和白水処理センターの消化槽設備更新においては、消化槽攪拌機の最新機種導入及びバイオガス発電設備の廃熱利用を行うことで、エネルギーの削減と有効活用を図ります。



19 DXの推進



道路関連

■ 駐車場の満空情報システムの開発 (新規)

予算 15,000千円
(駐車場施設課)

駐車場の空き待ちによる渋滞や、空き駐車場を探し回る「うろつき交通」を解消するため、スマートフォン等で駐車場の空き状況などを確認できる満空情報システムを開発します。

■ 車両走行情報のビッグデータを活用した交通安全対策 (P8-11再掲)

予算 52,000千円
(道路計画課)

ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビから収集された車両走行情報のビッグデータを活用し、速度超過や急ブレーキ箇所を見える化することで、潜在的な危険箇所を特定し、より効果的・効率的な交通安全対策に取り組みます。

令和6年度は、ビッグデータを活用したハンプ等の設置と車両の速度規制を組み合わせたゾーン30プラスを推進します。

<令和6年度主な予定箇所>

- ・東区舞松原地区 (新規)
- ・博多区三筑・諸岡地区 (新規)
- ・中央区高砂地区 (新規)
- ・南区大橋2丁目地区 (継続)
- ・城南区鳥飼地区 (継続)
- ・早良区有田地区 (継続)
- ・西区吉岐南地区 (新規)



下水道関連

■ 受益者負担金賦課図のデジタル化 (新規)

予算 9,988千円
(下水道料金課)

賦課図について、順次デジタル化を進めホームページ上で公開することにより、電話や来庁することなく賦課情報の確認ができるようになります。

<賦課情報の問い合わせ：年間約2,400件>

土地の動き(売買や開発)がある時などに、土地所有者や開発業者などから問い合わせがあります。

※受益者負担金…下水道の整備にともない処理区域に指定された時に、土地所有者等に対して、整備費用の一部負担を求める制度。負担額は1㎡あたり250円。



職員が地図で確認し回答



いつでも誰でもホームページで確認可能

※令和6年度は一部の区をデジタル化し、ホームページ上で公開予定。

特色ある事業：プロモーションの強化



20 都市インフラプロモーション【新規】



道路 河川 下水道

予算 28,575千円
(総務課・政策調整課)

建設業の魅力発信（イベント等の実施）

道路、河川、下水道などの都市インフラの役割や建設業の魅力を伝えることを目的に、子どもたちを対象とした、見て触れて楽しめる「体験型イベント」を実施します。

【会場/時期】 福岡市役所西側ふれあい広場/令和7年3月（予定）



「体験型イベント」の例

人材獲得（技術職）に視点を置いた広報

技術の世界の紹介や技術職としての将来の人材獲得を目的に、工事現場等を活用した、子ども向けの「お仕事教室」を実施します。

建設業界の働き方改革支援事業

建設業界の生産性向上に向けた取組み等を支援するため、地場建設企業とスタートアップ企業とのマッチングイベント等を実施します。

21 下水道分野における国際貢献の推進



下水道

予算 28,632千円
(政策調整課)

JICA（独立行政法人国際協力機構）事業等を活用し、フィジー等の水環境改善に向けた技術協力により、福岡市のアジア等における知名度、ステイタス、そしてプレゼンスの向上を目指します。



JICAプロジェクト（フィジー）

特色ある事業：道路・下水道分野の計画策定

「福岡市基本計画」の策定と連動した、各分野の計画の策定

福岡市道路整備計画（道路計画課）

現計画である「福岡市道路整備アクションプラン2024」が、令和6年度に計画期間の満了を迎えます。このため、令和7年度から令和10年度までの4年間の道路整備の考え方等を整理し、新しい「福岡市道路整備計画」を策定します。

福岡市自転車活用推進計画（自転車課）

現計画である「福岡市自転車活用推進計画」が、令和6年度に計画期間の満了を迎えます。このため、令和7年度以降も計画的に自転車政策を実施していくため、新しい「福岡市自転車活用推進計画」を策定します。

福岡市下水道経営計画（下水道企画課）

現計画である「福岡市下水道経営計画2024」が、令和6年度に計画期間の満了を迎えます。このため、令和7年度以降も計画的な事業実施と更なる経営の安定化を図っていくため、新しい「福岡市下水道経営計画」を策定します。